

鳥取西高等学校整備のあり方検討会委員による県外視察結果の概要について

教育環境課・文化財課  
平成23年2月16日

鳥取西高等学校整備のあり方検討会委員が、下記のとおり史跡内にある学校等を視察した結果について報告します。

1 視察先・参加委員

日 時	1月14日	1月20日	1月21日
視察先	旭丘高校 小田原高校 小田原城跡	彦根東高校 彦根城跡	赤穂高校 赤穂城跡
委 員 名			
池本 百代【鳥取女性中央会幹事】	○		
岡田 昭明【県文化財保護審議会会長】	○		
青木 節也【鳥取西高校長】	○		
松下栄一郎【鳥取西高同窓会副会長】	○		○
濱田由紀子【県弁護士会副会長】		○	○
池内 勝彦【鳥取西高PTA会長】		○	
坂出 徹【鳥取商工会議所専務理事】			○

2 概 要

(1) 小田原

①国史跡小田原城跡(神奈川県小田原市)

- ・ 廃城後、学校用地等に転用されたが、昭和13年に国史跡に指定。
- ・ 昭和51年以降順次、復元整備が進められる一方、史跡内の私有地の公有地化、学校等の史跡地外への移転等を実施。

②学校法人新名学園旭丘高等学校(神奈川県小田原市)・・・史跡内に立地

- ・ 昭和28年に現在の校地(史跡内)に全面移転。
- ・ その後、平成5年に現在地での建替え、耐震改修を計画、小田原市、神奈川県、文化庁と4年以上に渡る協議の末、工事を実施し、現在地で存続。
- ・ 校地は史跡の周辺部。

③神奈川県立小田原高等学校(神奈川県小田原市)・・・史跡外に立地

- ・ 史跡外であるが、校地に北条氏に関する遺構が存在することなどから、市民グループによる校舎建替えの反対運動が起こる。
- ・ 発掘調査し、遺構を避けるなどの対応をし、19年に建替え工事が完成。
- ・ 小田原市は、全ての整備完了後に史跡指定する方針。



小田原高校での遺構の復元展示



## (2) 彦根

### ①国特別史跡彦根城跡(滋賀県彦根市)

- ・ 廃城後、天守などの城郭建物は概ね保護されたが、屋敷などは荒廃が進み、公共施設の用地に転用された。
- ・ 昭和26年に国史跡に指定、昭和31年には特別史跡に指定。
- ・ 復元整備が進められる一方、史跡内の学校等の史跡地外への移転等を実施。

### ②滋賀県立彦根東高等学校(滋賀県彦根市)・・・史跡内に立地

- ・ 校舎の老朽化・耐震化への対応のため移転も検討されたが、移転先がないことから、今後5年間で耐震改修を行う計画。
- ・ 耐震改修に併せ、教育環境改善のため芸術棟(ベタ基礎による木造1階建て)を新築。仮設校舎(2階建て)建設による工期短縮を計画。
- ・ 将来的には、移転先を探す方針。



彦根東高 校舎とプール



### (3) 赤穂

#### ①国史跡赤穂城跡(兵庫県赤穂市)

- ・ 廃城後、学校用地等として利用され、荒蕪が進んでいたが、昭和46年に城郭主要部分が国史跡に指定
- ・ 民有地の公有化、学校等の史跡地外への移転、史跡整備を順次実施中。
- ・ 高校移転後の跡地は、石垣修理、本丸御殿の平面表示などを実施。

#### ②兵庫県立赤穂高等学校(兵庫県赤穂市)

- ・ 赤穂城跡の本丸に校舎、二の丸に運動場があったが、老朽化、生徒増に対応するため、昭和44年に城跡からの移転を決定。
- ・ 昭和46年、城郭の主要部分が国史跡に指定。
- ・ 昭和56年に新校舎が完成。
- ・ 学校関係者は、校舎、グラウンドが広くなり、教育環境が充実したと評価。一方、赤穂駅から遠くなったため、入学希望者が1割程度減少。



赤穂高校



赤穂城跡本丸御殿の平面表示